

ここにすれば ものづくりの 楽しさがわかる

六月二十六日、札幌芸術の森で行われた「芸森アートマーケット」には、ものづくりが大好きな市民アーティストが大集合。カップや皿、木のおもちゃ、ビーズアクリセサリー、染物、絵画など、手作りであれば何でもあります。

出店者は、学生や主婦、会社を退職した人などさまざま。自慢の作品を持ち寄った青空市。

手芸が趣味の菅谷良子さん。

店先には、一つ一つ手縫いで仕上げた動物のぬいぐるみや布製バッグなど、カラフルな小物があふれています。手芸店で布地を見るとわくわくするという菅谷さんは、「手芸は友人がやっているのを見て、芸術の森の陶芸教室に通い始めたのがきっかけ。現在は自

分の作品をいろんな人が手に取つて見て楽しんでくれるのがとてもうれしくて、作つて良かつたなと思うんです」。

お客様と一緒に作品を売つていて、とても生き生きとしています。

専門学校を卒業し、木工家土の質感が残る湯飲み茶碗や動物の置き物などを並べていた渋谷明さんは、陶芸を始めて十五年。会社を退職し、新しく何かをやってみようと、芸術の森の陶芸教室に通い始めたのがきっかけ。現在は自

分の作品をいろんな人が手に取つて見て楽しんでくれるのがとてもうれしくて、作つて良かつたなと思うんです」。

宅に「工房明」を構えています。「土をこね、自分の思うがまま、好きなものを好きなように作る。想像力も働きます。これが作ることの面白さなんですよ」。



●菅谷さんのかわいらしい作品は子どもに大人気



●アイデアいっぱい、渋谷さんの作品



●及川さんの作品は木のぬくもりが感じられます

芸森アートマーケット

日時 8月21日(日)、28日(日)

9月11日(日)、23日(祝)

午前10時～午後4時

詳細 芸術の森アートマーケット事務局

(芸術の森2丁目75番地☎592-4125)

